



## 2018年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年4月3日

上場会社名 ケイティケイ株式会社  
 コード番号 3035 URL <http://www.ktk.gr.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部副本部長  
 四半期報告書提出予定日 2018年4月4日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 土岐 勝司  
 (氏名) 青山 敏久  
 TEL 052-931-1881

(百万円未満切捨て)

### 1. 2018年8月期第2四半期の連結業績(2017年8月21日～2018年2月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年8月期第2四半期	8,342	1.5	147	17.4	170	10.4	121	2.3
2017年8月期第2四半期	8,215	1.7	125	35.5	154	41.6	118	66.5

(注) 包括利益 2018年8月期第2四半期 138百万円 (9.5%) 2017年8月期第2四半期 153百万円 (96.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年8月期第2四半期	21.22	
2017年8月期第2四半期	20.75	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年8月期第2四半期	8,122	2,905	35.8
2017年8月期	8,274	2,834	34.3

(参考) 自己資本 2018年8月期第2四半期 2,905百万円 2017年8月期 2,834百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年8月期		0.00		12.00	12.00
2018年8月期		0.00			
2018年8月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2018年8月期の連結業績予想(2017年8月21日～2018年8月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,552	1.8	211	0.0	243	3.4	136	37.9	23.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年8月期2Q	5,725,000 株	2017年8月期	5,725,000 株
期末自己株式数	2018年8月期2Q	2,861 株	2017年8月期	2,861 株
期中平均株式数(四半期累計)	2018年8月期2Q	5,722,139 株	2017年8月期2Q	5,722,139 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信(添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2017年8月21日～2018年2月20日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続く一方、海外経済の不確実性や米国の政策動向の影響等により、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

このような環境の中、前期事業計画を更に高度なものへと進化させた当期事業計画「ktkアドバンスプラン Ver.2」を策定し、営業、生産、管理・経営、調達・物流の各部門に「営業量の拡大、選択と集中」「原価低減、ラインナップ拡充、品質改善、生産管理の見える化と次世代モノづくりの検討」「原価削減と現場強化、春日井工場商材の拡販サポート」「企業価値、業務効率の向上と教育制度の充実による社員のレベルアップ」「更なるコストダウンとサービスレベル&効率のアップ」を戦略に掲げ、全社が一丸となって邁進してまいりました。

特に営業部門においては、「営業量の拡大」という課題に対し、全営業社員に貸与しているモバイル機器(タブレット型PCやスマートフォン)と社用車の一人一台専用化に加え、社員の自宅近くに社用車専用駐車場を整備するなどの直行直帰体制の強化に取り組んだ結果、日次ベースで営業時間1時間増という大きな成果を上げ、売上高は増加いたしました。

利益面におきましては、売上高が増加したことに加え、前期事業計画に引き続き、製造コストと調達コストの削減を実現させたことにより拡大いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,342,510千円(前年同四半期比1.5%増)、営業利益は147,823千円(前年同四半期比17.4%増)、経常利益は170,559千円(前年同四半期比10.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は121,449千円(前年同四半期比2.3%増)となりました。

なお、連結子会社である株式会社青雲クラウンの業績は、多くの顧客の年度末及び年度始めにあたる当社第3四半期連結会計期間以降に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

また、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債、純資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ152,055千円減少し、8,122,703千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ250,291千円減少し、5,189,984千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が184,484千円増加し、現金及び預金が416,547千円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ98,235千円増加し、2,932,718千円となりました。これは、有形固定資産が70,339千円、投資その他の資産が、54,616千円増加し、無形固定資産が26,720千円減少したことによります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ301,200千円減少し、4,473,265千円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が135,819千円、短期借入金が119,094千円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ78,890千円増加し、744,295千円となりました。これは、主に長期借入金が80,638千円増加したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ70,253千円増加し、2,905,142千円となりました。これは、主に利益剰余金が52,783千円増加したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ360,452千円減少し、1,611,387千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、232,227千円(前年同四半期は255,319千円の使用)となりました。収入の主な要因は、税金等調整前四半期純利益166,056千円であり、支出の主な要因は、売上債権の増加額220,014千円、仕入債務の減少額135,819千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、18,139千円(前年同四半期は78,409千円の獲得)となりました。収入の主な要因は、定期預金の払戻による収入96,000千円であり、支出の主な要因は定期預金の預入による支出39,904千円、有形固定資産の取得による支出56,392千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、110,085千円(前年同四半期は44,937千円の使用)となりました。支出の主な要因は、短期借入金の純減額150,000千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年8月期の通期業績予想につきましては、2017年10月3日に発表いたしました連結業績予想より変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年8月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,400,751	1,984,203
受取手形及び売掛金	2,430,617	2,615,102
商品及び製品	430,347	427,092
仕掛品	541	749
原材料及び貯蔵品	48,848	56,230
その他	130,205	107,769
貸倒引当金	△1,036	△1,162
流動資産合計	5,440,276	5,189,984
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,116,221	1,116,221
その他(純額)	460,922	531,261
有形固定資産合計	1,577,143	1,647,483
無形固定資産		
のれん	85,444	82,595
その他	54,201	30,329
無形固定資産合計	139,645	112,925
投資その他の資産		
その他	1,133,986	1,206,205
貸倒引当金	△16,293	△33,895
投資その他の資産合計	1,117,693	1,172,310
固定資産合計	2,834,483	2,932,718
資産合計	8,274,759	8,122,703

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年8月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年2月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,009,031	2,873,211
短期借入金	1,233,268	1,114,174
未払法人税等	43,329	42,432
賞与引当金	85,613	94,722
役員賞与引当金	17,424	—
その他	385,799	348,724
流動負債合計	4,774,465	4,473,265
固定負債		
長期借入金	223,805	304,443
役員退職慰労引当金	97,048	88,433
退職給付に係る負債	116,168	120,971
その他	228,383	230,447
固定負債合計	665,405	744,295
負債合計	5,439,870	5,217,561
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	663,325	663,325
利益剰余金	1,742,473	1,795,257
自己株式	△1,281	△1,281
株主資本合計	2,699,192	2,751,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,696	153,166
その他の包括利益累計額合計	135,696	153,166
純資産合計	2,834,888	2,905,142
負債純資産合計	8,274,759	8,122,703

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年8月21日 至2017年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年8月21日 至2018年2月20日)
売上高	8,215,766	8,342,510
売上原価	6,538,353	6,639,461
売上総利益	1,677,413	1,703,048
販売費及び一般管理費	1,551,477	1,555,225
営業利益	125,936	147,823
営業外収益		
受取利息	245	172
受取配当金	7,832	8,226
仕入割引	21,081	21,194
受取家賃	30,585	27,890
その他	4,249	3,604
営業外収益合計	63,994	61,087
営業外費用		
支払利息	6,226	4,809
売上割引	23,417	29,026
その他	5,828	4,515
営業外費用合計	35,472	38,351
経常利益	154,458	170,559
特別利益		
保険解約益	3,863	—
特別利益合計	3,863	—
特別損失		
固定資産除却損	—	4,502
特別損失合計	—	4,502
税金等調整前四半期純利益	158,321	166,056
法人税、住民税及び事業税	26,308	35,870
法人税等調整額	13,251	8,736
法人税等合計	39,560	44,607
四半期純利益	118,761	121,449
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	118,761	121,449

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年8月21日 至 2017年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年8月21日 至 2018年2月20日)
四半期純利益	118,761	121,449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,733	17,470
その他の包括利益合計	34,733	17,470
四半期包括利益	153,494	138,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,494	138,919
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年8月21日 至 2017年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年8月21日 至 2018年2月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	158,321	166,056
減価償却費	51,114	48,641
のれん償却額	2,848	2,848
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	962	17,729
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,634	△8,615
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,500	△17,424
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,361	9,109
受取利息及び受取配当金	△8,078	△8,398
支払利息	6,226	4,809
固定資産除却損	262	423
固定資産売却損益 (△は益)	△814	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△188,915	△220,014
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,104	△4,335
仕入債務の増減額 (△は減少)	△173,408	△135,819
その他	△77,298	△57,873
小計	△227,386	△202,862
利息及び配当金の受取額	8,078	8,398
利息の支払額	△7,111	△4,897
法人税等の支払額	△28,898	△32,865
営業活動によるキャッシュ・フロー	△255,319	△232,227
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△64,910	△39,904
定期預金の払戻による収入	171,001	96,000
有形固定資産の取得による支出	△16,942	△56,392
有形固定資産の売却による収入	815	—
無形固定資産の取得による支出	△785	△1,485
投資有価証券の取得による支出	△7,230	△6,601
投資有価証券の売却による収入	8	—
差入保証金の差入による支出	△12,641	△15,107
差入保証金の回収による収入	12,142	3,402
保険積立金の積立による支出	△7,810	△7,755
保険積立金の解約による収入	7,392	12,015
長期前払費用の取得による支出	△2,629	△2,311
投資活動によるキャッシュ・フロー	78,409	△18,139

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年8月21日 至 2017年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年8月21日 至 2018年2月20日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,354	△150,000
長期借入れによる収入	250,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△268,898	△238,456
リース債務の返済による支出	△3,991	△3,154
配当金の支払額	△28,401	△68,475
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△44,937</b>	<b>△110,085</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△221,847	△360,452
現金及び現金同等物の期首残高	1,970,599	1,971,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,748,751	1,611,387

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

《簡便的な会計処理》

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計期間に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計期間末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計期間において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用しております。